

全三回の講座で 勝山を深く学びます。

真庭市勝山地区は、戦国時代以来の城下町として栄え、なまこ壁や格子窓の商家が並ぶ町並みは昭和60年(1985)に県下で初めて「町並み保存地区」に指定されました。現在、国の「重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)」選定に向けた取り組みが進んでいます。

本講座では、町並みの成り立ちや当時の生活について、古文書などの史資料を読み解きながら学びます。第3回は実際に城下町「勝山」を歩き、町並みに残る歴史と文化を探索します。

第一回 9月26日(土)

城下町「勝山」の 始まりと発展

中世山城「高田城」の歴史と共に、勝山城下町の成立と発展について、具体的な史資料をもとに学びます。

第二回 10月10日(土)

城下町「勝山」の 人々と生活の諸相

城下町「勝山」でどのような人々が暮らし、どのような生活を送っていたのか、残された史資料を通じて学びます。

第三回 11月7日(土)

城下町「勝山」を 探索する

前2回の学びを受けて、実際に城下町「勝山」を半日かけて歩き、町並みに残る歴史と文化を探索します。

※歩きやすい服装、靴、飲み物などをご準備ください。
※天候により内容を変更する場合があります。

参加申込み

いずれかの方法で
お申し込みください。



0867-42-1094



shohgai@city.maniwa.lg.jp

真庭市郷育講座

史資料を読み、
歩き、学び、知る。

勝山城下町の 歴史とくらし



講師

森 俊弘

真庭市教育員会
生涯学習課参事

会場

真庭市立中央図書館
三階会議室(真庭市勝山53-1)

定員

40名
先着順のため、定員になり次第締め切ります。

参加費

1,000円
どなたでもご参加いただけます。(市内外は問いません)

時間

受付 13時～
講座 13時30分～15時
(質疑応答込み)

※第三回のみ町歩き 13時30分～16時頃



二次元コードを
読み込んで
申込フォームへ